



PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 05067274 A

(43) Date of publication of application: 19.03.93

(51) Int. Cl. G07G 1/12
G06F 15/21

(21) Application number: 03229356

(71) Applicant: FUJITSU LTD

(22) Date of filing: 10.09.91

(72) Inventor: YOSHIDA TOMOKO

(54) SYSTEM FOR PROCESSING RECYCLE POINT

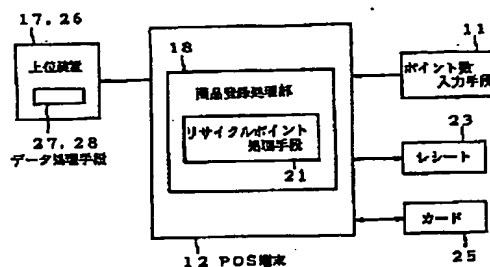
Inputted recycle point number.

(57) Abstract:

COPYRIGHT: (C)1993,JPO&Japio

PURPOSE: To effectively support environments protection activities by inputting the corresponding recycle point number and printing it on a receipt or registering it in a card for a customer who does not need wrapping material, etc., such as a tray, a pack, etc.

CONSTITUTION: A POS terminal 12 having a commodity register processing part 18 is provided with a point number input means 11 inputting the recycle point number corresponding to the return of wrapping material and to the offer of a needless plastic bag. When the return of wrapping material such as the tray, the pack, etc., or the offer of a needless plastic bag is received from the customer at the time of registering a commodity, the operator of the POS terminal 12 inputs the corresponding recycle point number from the point number input means 11. A recycle point processing means 21 executes a processing in such a way that the recycle point number is registered in the receipt at the time of purchase in cash or in the card at the time of purchase through the use of the card based on the



(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平 5 - 6 7 2 7 4

(43) 公開日 平成 5 年 (1993) 3 月 19 日

(51) Int. Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 7 G 1/12	3 2 1 M	8921-3 E		
G 0 6 F 15/21	3 1 0 Z	7218-5 L		

審査請求 未請求 請求項の数 5

(全 9 頁)

(21) 出願番号 特願平 3-229356

(22) 出願日 平成 3 年 (1991) 9 月 10 日

(71) 出願人 000005223

富士通株式会社

神奈川県川崎市中原区上小田中 1015 番地

(72) 発明者 吉田 倫子

群馬県前橋市間屋町 1 丁目 1 番の 1 株式会社
社群馬富士通内

(74) 代理人 弁理士 宮内 佐一郎 (外 1 名)

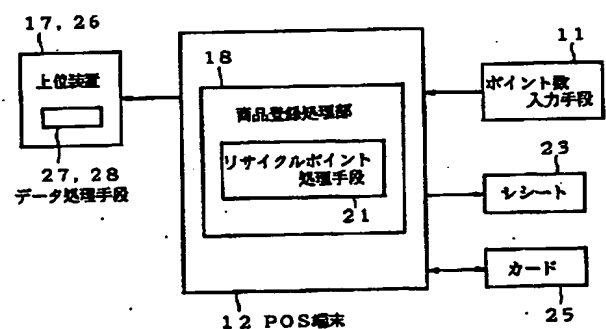
(54) 【発明の名称】 リサイクルポイント処理方式

(57) 【要約】

【目的】 POS システムのリサイクルポイント処理方式に関し、環境保護活動を支援することを目的とする。

【構成】 包装品の返却、手提げ袋不要の申出に相当するリサイクルポイント数を入力するポイント数入力手段 11 を備え、商品登録処理部 18 内に、入力したリサイクルポイント数に基づいて現金で買上るときはレシート 23 にリサイクルポイント数を印字するリサイクルポイント処理手段 21 を設けるように構成する。

本発明の原理説明図



クルポイント数に基づいて現金で買上のときはレシート23にリサイクルポイント数を印字するリサイクルポイント処理手段21を設けた。

【0008】また、本発明は商品登録処理を行う商品登録処理部18を有するPOS端末12において、包装品の返却、手提げ袋不要の申出に相当するリサイクルポイント数を入力するポイント数入力手段11を備え、前記商品登録処理部18内に、入力したリサイクルポイント数に基づいてカードを用いるときはカード25にリサイクルポイント数を登録する処理を行うリサイクルポイント処理手段21を設けた。

【0009】また、本発明は、商品登録処理を行う商品登録処理部18を有するPOS端末12において、包装品の返却、手提げ袋不要の申出に相当するリサイクルポイント数を入力するポイント数入力手段11を備え、前記商品登録処理部18内に、入力したリサイクルポイント数に基づいてカードを用いるときはカード25にリサイクルポイント数を登録する処理を行うとともに、カード残高がゼロになったときは、リサイクルポイント数を次のカードに継承させるリサイクルポイント処理手段21を設けた。

【0010】また、本発明は、個人を特定することができるカード25を用いるときは、上位装置17、26内に、POS端末12から送られてきたリサイクルポイント機能関連データである、顧客別リサイクルポイントデータ、包装品の回収数、手提げ袋不要数を集計、管理するデータ処理手段27、28を設けた。

【0011】

【作用】POS端末のオペレータは、商品登録を行う際、顧客からトレイ、バックなどの包装品の返却または手提げ袋不要の申立を受けると、ポイント数入力手段から相当するリサイクルポイント数を入力する。入力したリサイクルポイント数に基づいて、リサイクルポイント処理手段により、現金で買上のときは、レシートにリサイクルポイント数を印字し、カードを用いるときは、カードにリサイクルポイント数を登録するように処理する。個人を特定することができるカードを用いるときは、上位装置に対して、リサイクルポイント機能関連データを送る。

【0012】上位装置では、送られてきたリサイクルポイント機能関連データ、すなわち、顧客別リサイクルポイントデータ、トレイ、バックなどの回収数、手提げ袋不要数を集計、管理する。このように、トレイ、バックなどの包装品を返却または手提げ袋を不要とした顧客に対して、リサイクルポイント（得点）サービスを行い、また、リサイクルポイント機能関連データを集計、管理するので、環境保護活動を有効に支援することができる。

【0013】

【実施例】以下、本発明の実施例を図面に基づいて説明

する。図2～図4は本発明の一実施例を示す図である。図2において、11はポイント数入力手段としてのキーボードであり、キーボード11により、トレイ、バックなどの包装品の返却、手提げ袋の不要を申出をする顧客に対して相当するリサイクルポイント（得点）数をテンキーで入力し、リサイクルポイントキーを押下する。

【0014】12はPOS端末であり、POS端末12は、データ入出力制御部13、データ処理部14およびデータ伝送制御部15を有している。データ入出力制御部13はリサイクルポイント数を含む売上データの入出力制御を行う。データ伝送制御部15は、専用通信回線16を介して接続されているストアレベルプロセッサ17との間のデータ伝送の制御を行う。

【0015】データ処理部14は、商品登録処理部18、点検処理部19および精算処理部20を有している。商品登録処理部18は買上のとき商品登録処理を行い、点検処理部19は商品別売上、顧客別売上などの点検処理を行い、精算処理部20は一日の売上の精算処理を行う。商品登録処理部18内にはリサイクルポイント処理手段としてのリサイクルポイント処理部21が設けられ、リサイクルポイント処理部21はキーボード11より入力したリサイクルポイント数に基づいて、現金で買上のときは、プリンタ22によりレシート23にリサイクルポイント数を印字し、カードで買上のときはカードリーダライタ24によりカード25にリサイクルポイント数を登録するように処理を行う。個人を特定することができるカード25、例えばクレジットカードのときは、リサイクルポイント機能関連データ、すなわち、顧客別リサイクルポイントデータ、トレイ、バックなどの回収数、手提げ袋不要数を上位装置であるストアレベルプロセッサ17および本部ホスト26に送る。

【0016】ストアレベルプロセッサ17および本部ホスト26には、リサイクルポイントデータを集計、管理するデータ処理部（データ処理手段）27、28がそれぞれ設けられている。ここで、運用の形態をまとめて説明する。

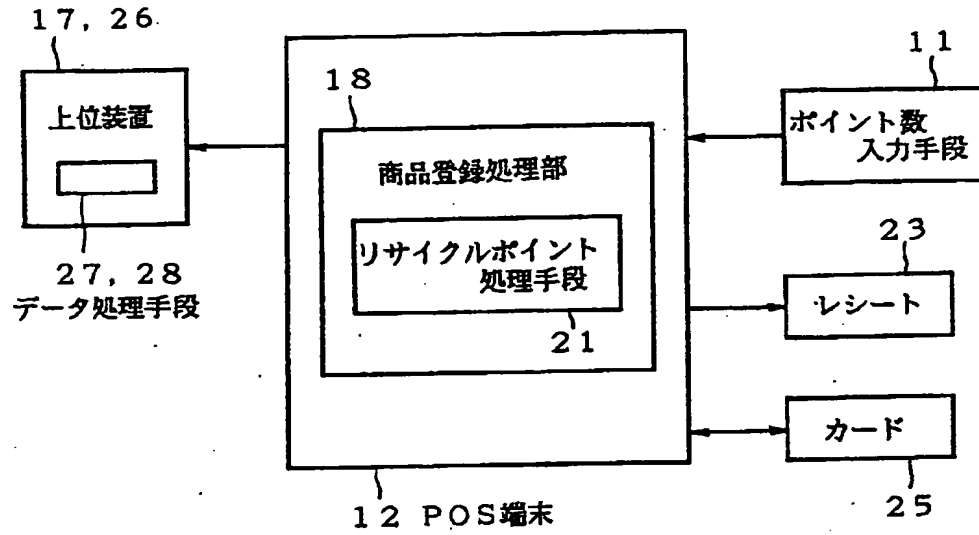
(1) 現金取引（取引相手を限定することができないので、客ごとのポイント数を管理することが出来ず、且つ取引時客に渡されるものがレシートのみ）の場合、レシート23に今回発行のポイント数を印字、もしくはポイントの印字されたポイント券を発行して、顧客がこれらを提示した際、ポイントの合計を計算し、計算結果に応じて金券、景品等のサービスを行う。

(2) 取引を行う媒体が現金、カードを問わず、ポイントを累積記憶するためのポイントカードを用意し、同カードに累積ポイント数を記憶させておく。また、顧客がサービスを受けた際は、サービスを受けた点数分累積ポイントから減算した値に書き直す。

(3) プリペイドカードにて取引を行う場合、カードにカード残額とともに、ポイント数を記憶させておく。ま

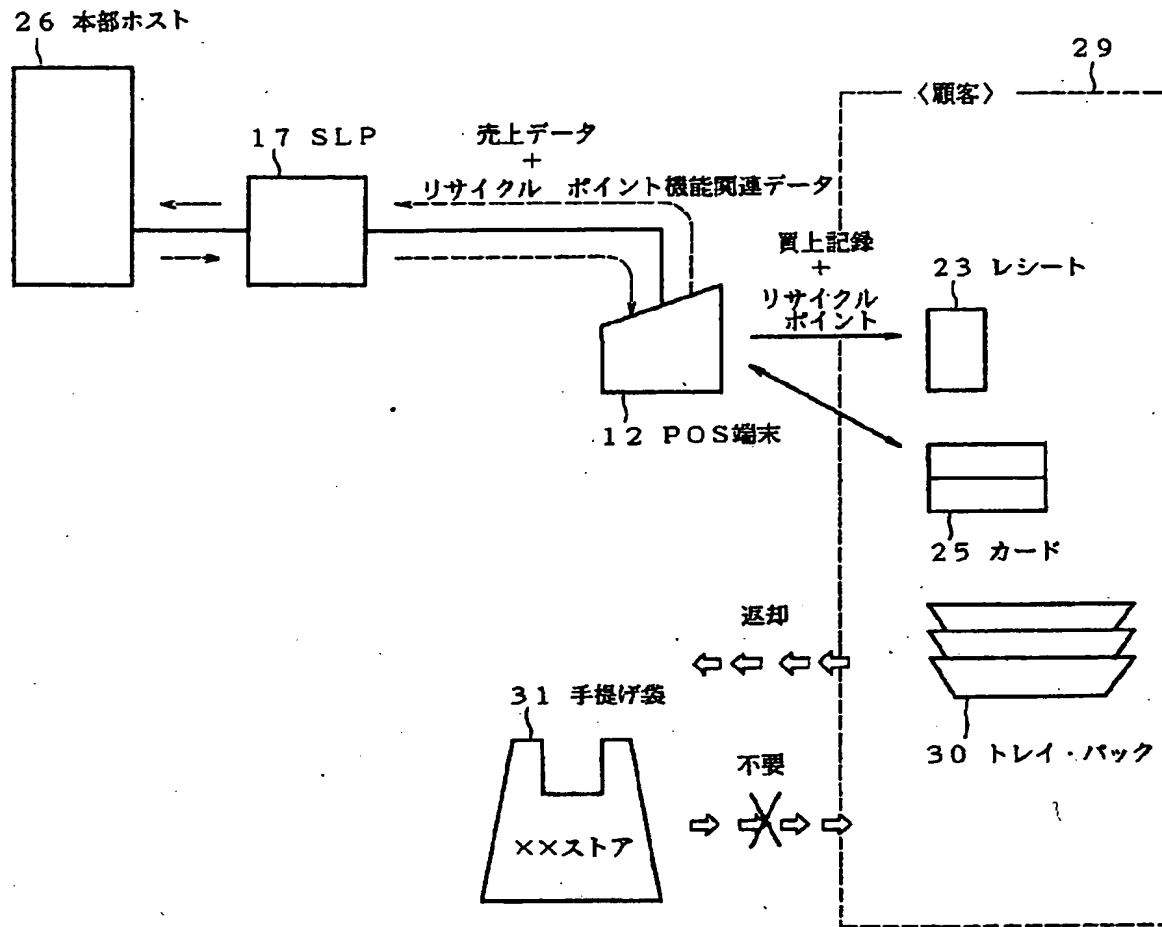
【図 1】

本発明の原理説明図



【図3】

動作を説明する図



【図5】

従来例の説明図

